

静岡市のお茶に関するアンケート調査

1 調査目的

静岡市では、お茶に関する伝統、文化、産業を守り、静岡市を日本一の茶どころとして育て、次代に継承していくため、平成20年度に「静岡市めざせ茶どころ日本一条例」を制定するとともに、平成21年度には、同条例に基づいて「静岡市茶どころ日本一計画」を策定し、「静岡市のお茶」の振興に向けた施策を実施しています。市民の皆さまの「静岡市のお茶」・「お茶のまち静岡市」に対するご意見等を伺い、茶業振興に向けた取組をより一層進めていくため、市民アンケートモニター調査を実施しました。

2 調査対象

市政アンケートモニターとして委嘱した市内在住の男女150人

3 回収件数

148件（回収率 約99%）

4 調査方法

インターネットによるアンケート調査

5 調査期間

令和2年8月18日（火）～令和2年8月25日（火）

6 担当課

農業政策課

7 回答者の属性

（1）年代・性別

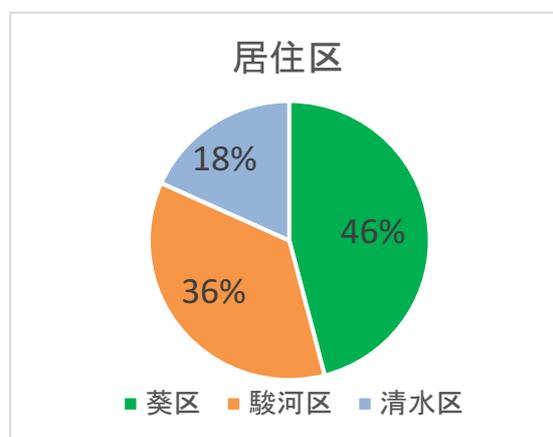
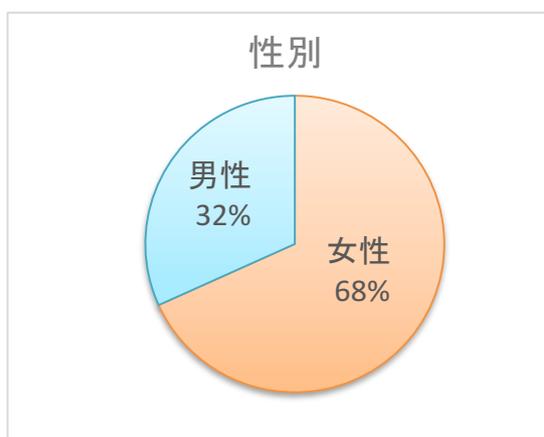
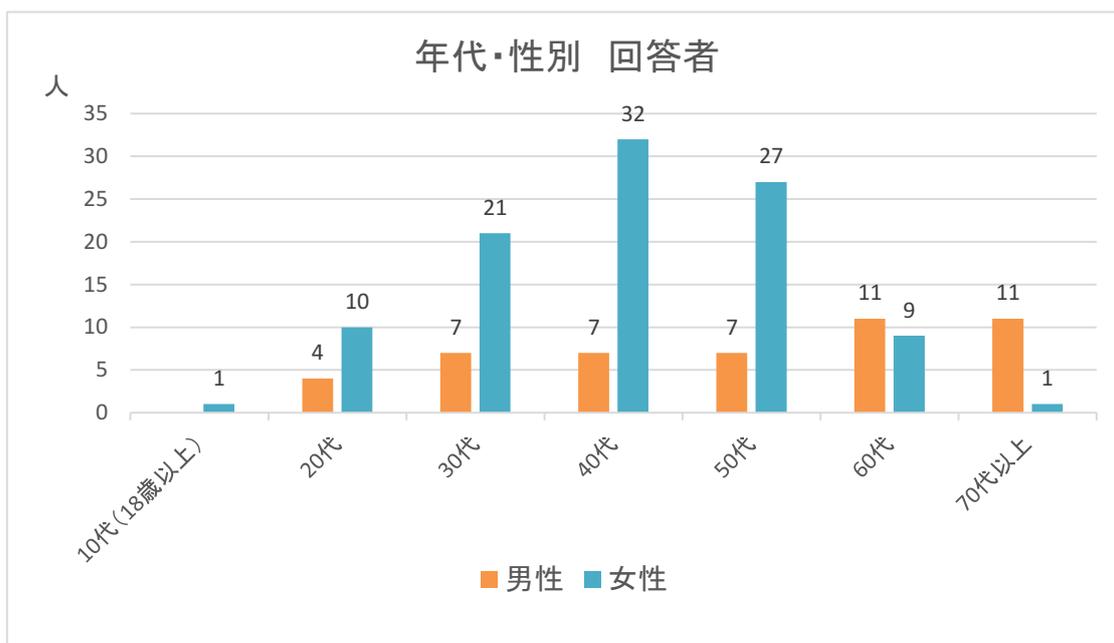
（人）

| | 男性 | 女性 | 計 |
|------------|----|-----|-----|
| 10代（18歳以上） | 0 | 1 | 1 |
| 20代 | 4 | 10 | 14 |
| 30代 | 7 | 21 | 28 |
| 40代 | 7 | 32 | 39 |
| 50代 | 7 | 27 | 34 |
| 60代 | 11 | 9 | 20 |
| 70代以上 | 11 | 1 | 12 |
| 総計 | 47 | 101 | 148 |

（2）居住区

（人）

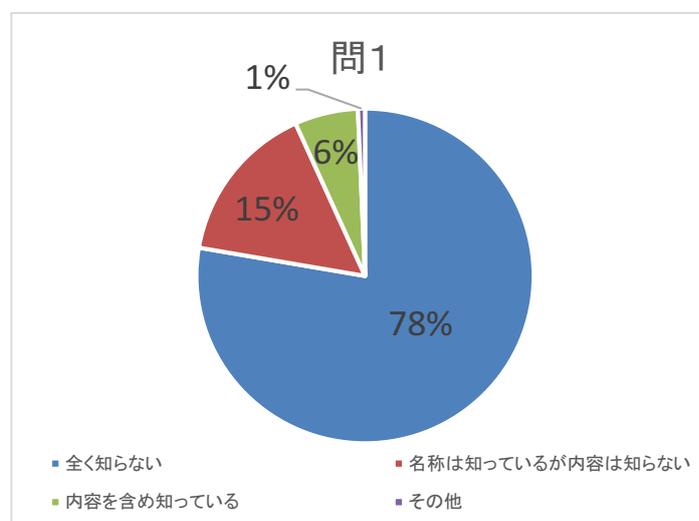
| | 葵区 | 駿河区 | 清水区 |
|-----|----|-----|-----|
| 居住区 | 68 | 53 | 27 |



8 調査結果・概要

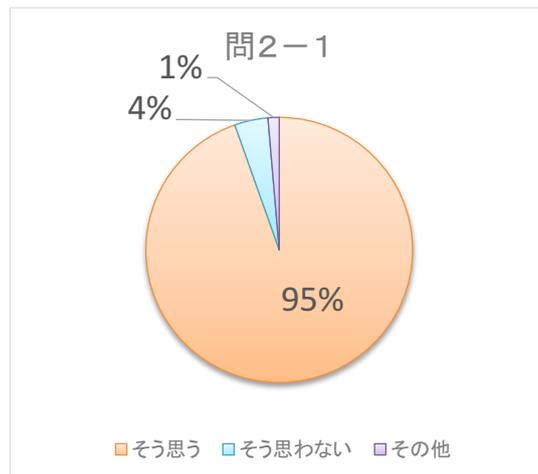
問1 あなたは、「静岡市めざせ茶どころ日本一条例」を知っていますか。

| 問1 | |
|------------------|------|
| 内容を含め知っている | 9人 |
| 名称は知っているが内容は知らない | 23人 |
| 全く知らない | 115人 |
| その他 | 1人 |



問2-1 あなたは、静岡市が「お茶のまち」だと思いますか。

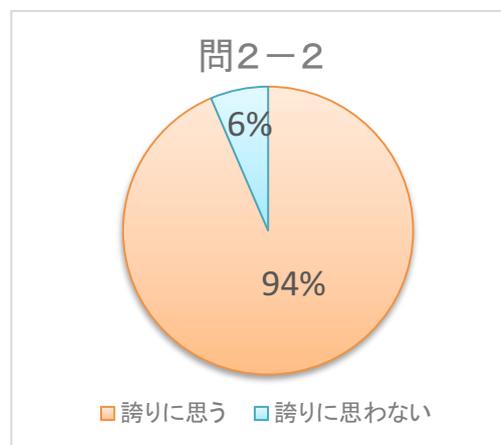
| | そう思う | そう思わない | その他 |
|------|------|--------|-----|
| 問2-1 | 140人 | 6人 | 2人 |



問2-2 問2-1で「そう思う」と答えた方にお伺いします。あなたは、静岡市が「お茶のまち」であることを誇りに思いますか。

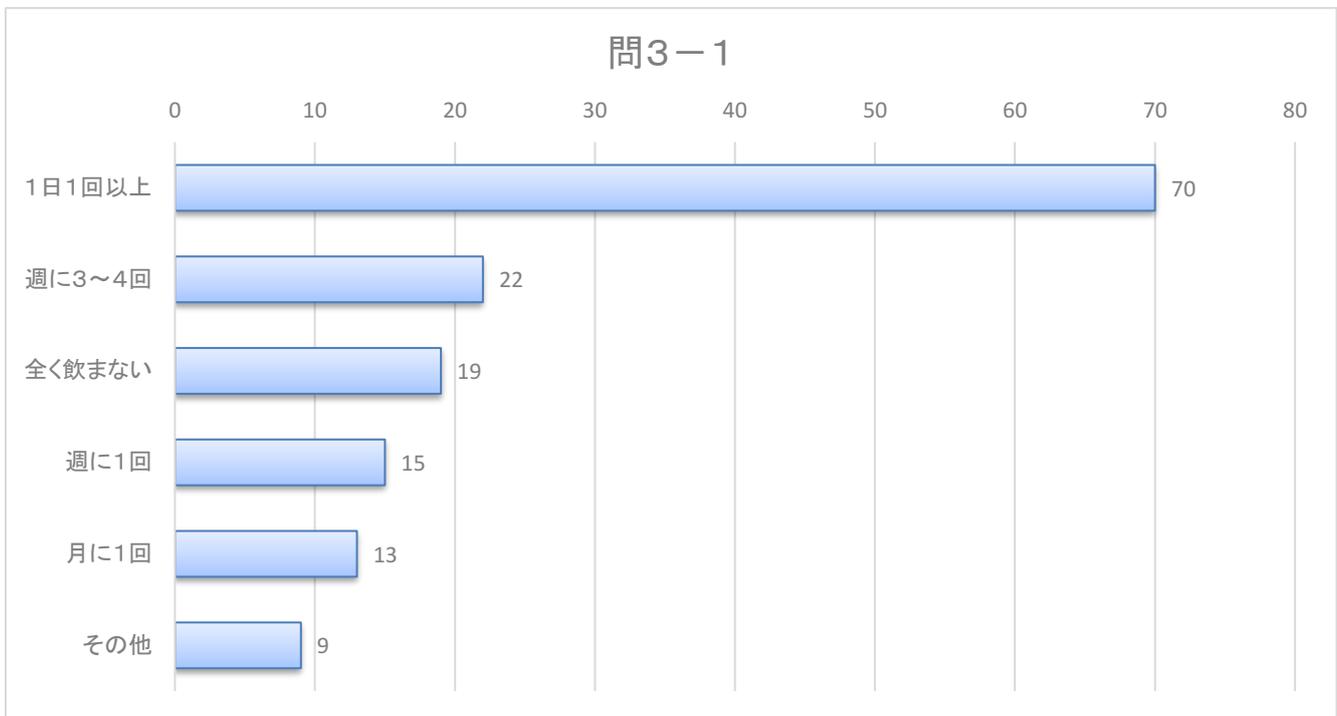
静岡市が「お茶のまち」であることを誇りに思う人の割合は94%であった。6%の人は誇りに思わないと回答しており、その理由としては、県内の他産地に比べてイベント等が少ないことや、昔に比べて荒れた茶畑が増えたからというものであった。

| | 誇りに思う | 誇りに思わない |
|------|-------|---------|
| 問2-2 | 131人 | 9人 |



問3-1 あなたは、茶葉で入れる緑茶（急須・専用ボトル等を使用）をどれくらい飲みますか。

| | 1日に1回以上 | 週に3~4回 | 週に1回 | 月に1回 | 全く飲まない | その他 |
|----|---------|--------|------|------|--------|-----|
| 問4 | 70 | 22 | 15 | 13 | 19 | 9 |



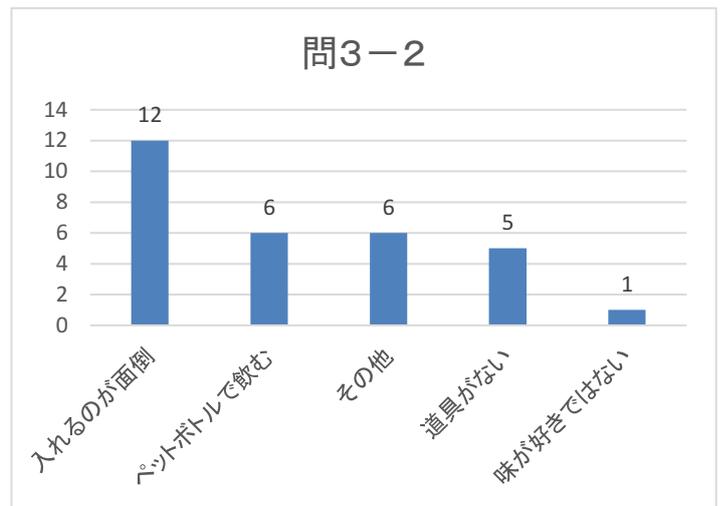
<その他の意見>

- 秋~春は1日1回飲みますが、夏は飲みません。(50代女性)
- ティーバッグで飲みます。(20代女性)
- 夏は水出し用のティーバッグで1日2ℓつくります。(40代女性)

問3-2 問3-1で「全く飲まない」と答えた方に伺います。緑茶を飲まないのはなぜですか。

(複数選択可)

| 問3-2 | |
|-----------|-----|
| 味が好きではない | 1人 |
| 入れるのが面倒 | 12人 |
| ペットボトルで飲む | 6人 |
| 道具がない | 5人 |
| その他 | 6人 |

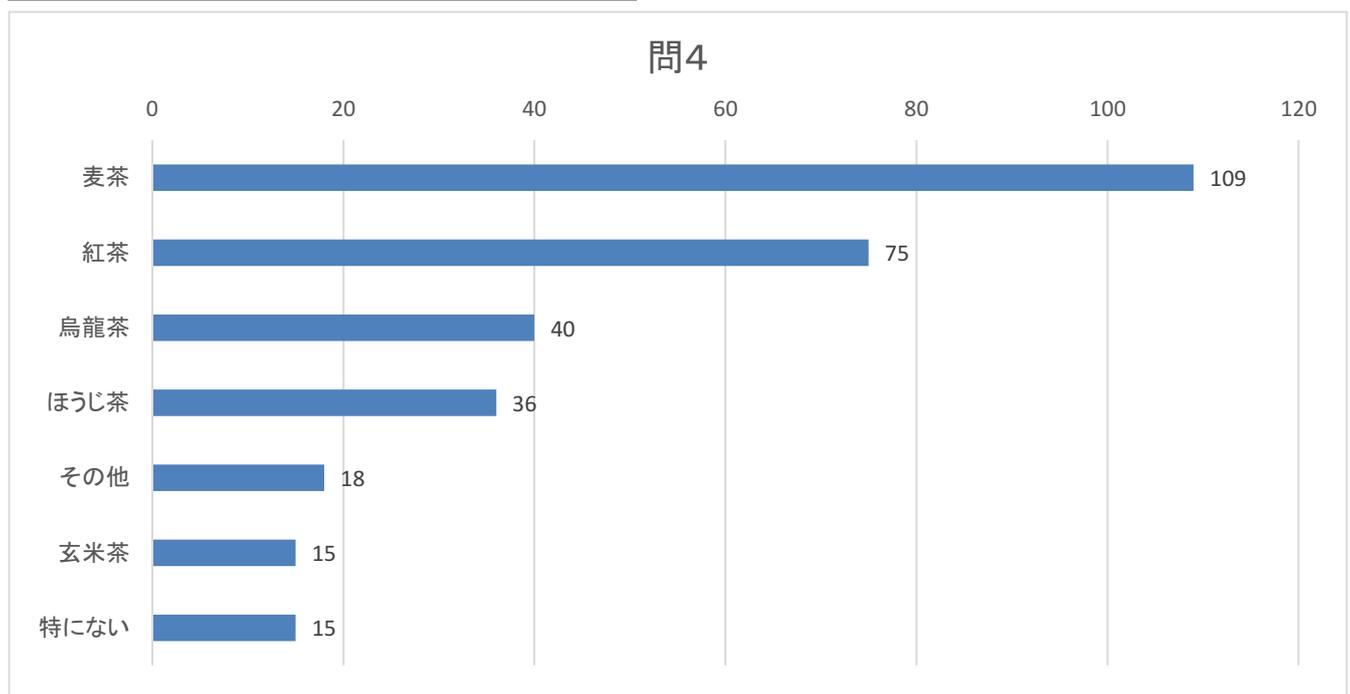


問4 緑茶以外で飲んでいるお茶はありますか。(複数選択可)

| 問4 | |
|--------|------|
| 紅茶 | 75人 |
| ほうじ茶 | 36人 |
| 玄米茶 | 15人 |
| 烏龍茶 | 40人 |
| 麦茶 | 109人 |
| その他(※) | 18人 |
| 特にない | 15人 |

<その他>

- ・ジャスミン茶
- ・ルイボスティー
- ・ハーブティー
- ・プーアル茶 など

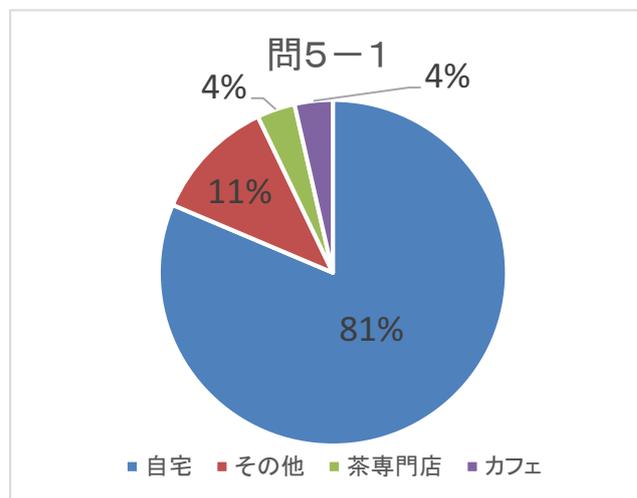


問5-1 問3-1で「全く飲まない」と答えた方以外の方に伺います。

あなたはどこで緑茶を飲みますか。(複数選択可)

自宅でお茶を飲む人が92人であり、9割以上となっている。
 その他、茶専門店や、カフェのお茶を飲むという人も見受けられる。

| 問5-1 | |
|------|-----|
| 自宅 | 92人 |
| 茶専門店 | 4人 |
| カフェ | 4人 |
| その他 | 13人 |

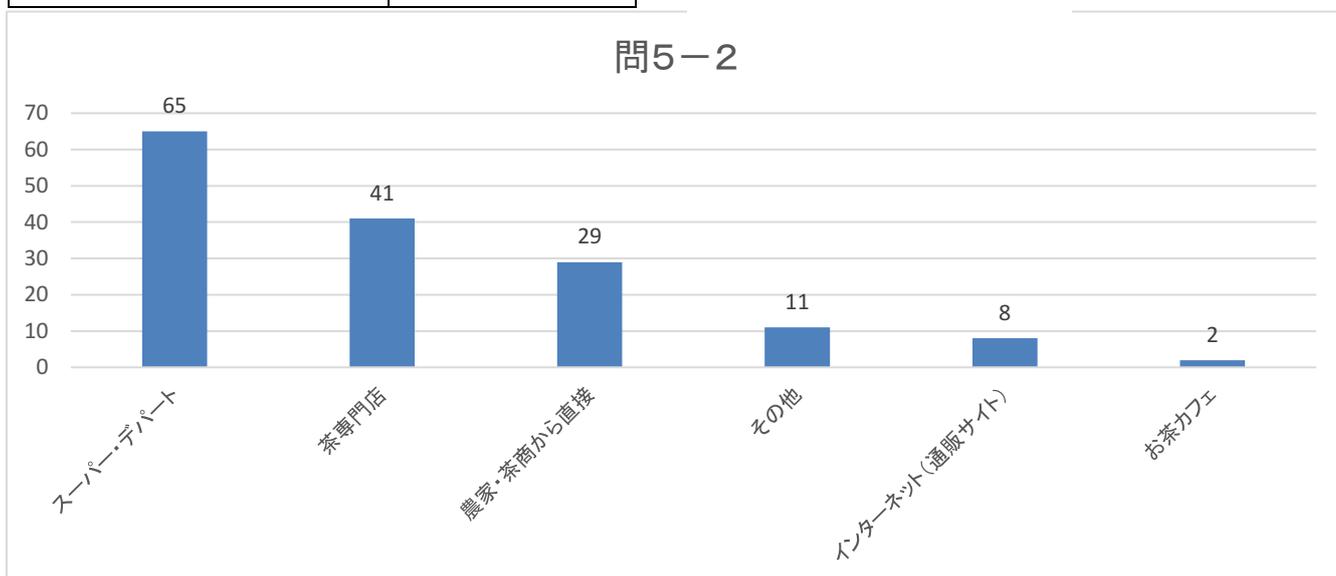


問5-2 問3-1で「全く飲まない」と答えた方以外の方に伺います。

あなたは、どこで緑茶を購入しますか。(複数選択可)

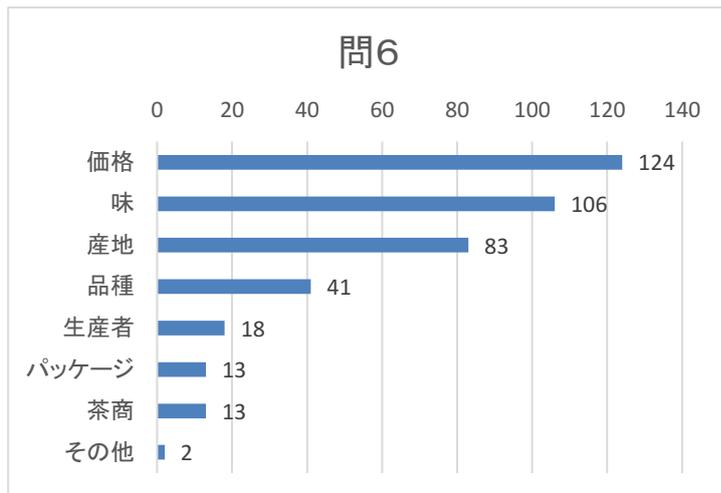
| 問5-2 | |
|----------------|-----|
| 茶専門店 | 41人 |
| スーパー・デパート | 65人 |
| インターネット(通販サイト) | 8人 |
| 農家・茶商から直接 | 29人 |
| お茶カフェ | 2人 |
| その他(※) | 11人 |

<その他>
 ・頂き物が多い
 ・農協で購入 など



問6 あなたはお茶（緑茶・紅茶・ほうじ茶など）を買うときにどんな点に注目しますか。（複数選択可）

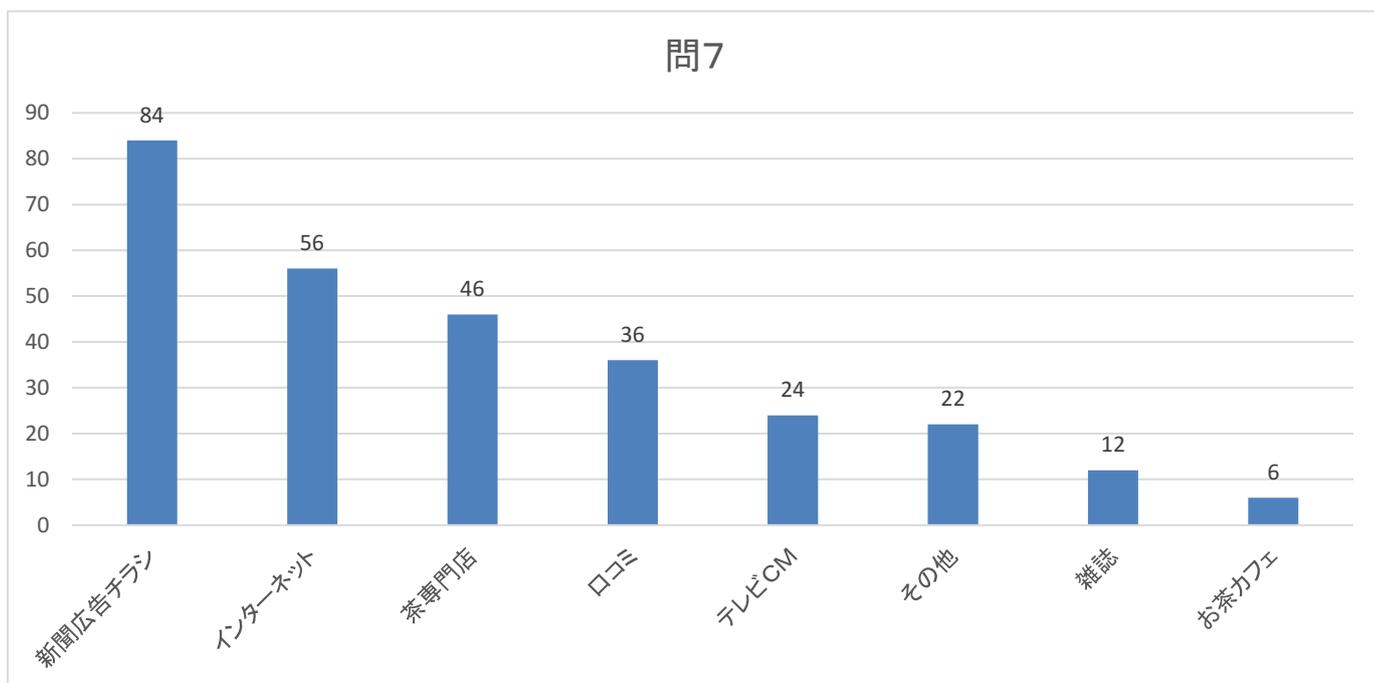
| 問6 | |
|-------|------|
| 味 | 106人 |
| 価格 | 124人 |
| パッケージ | 13人 |
| 品種 | 41人 |
| 産地 | 83人 |
| 生産者 | 18人 |
| 茶商 | 13人 |
| その他 | 2人 |



問7 あなたは、お茶の情報をどこで入手していますか。（複数選択可）

購入するお茶の情報は、「新聞広告・チラシ」で入手している人が84人と最も多い。
その他、インターネットや茶専門店でも情報を入手している人も見受けられる。

| | 茶専門店 | お茶カフェ | インターネット | テレビCM | 新聞広告 チラシ | 雑誌 | 口コミ | その他 |
|----|------|-------|---------|-------|-------------|----|-----|-----|
| 問7 | 46 | 6 | 56 | 24 | 84 | 12 | 36 | 22 |



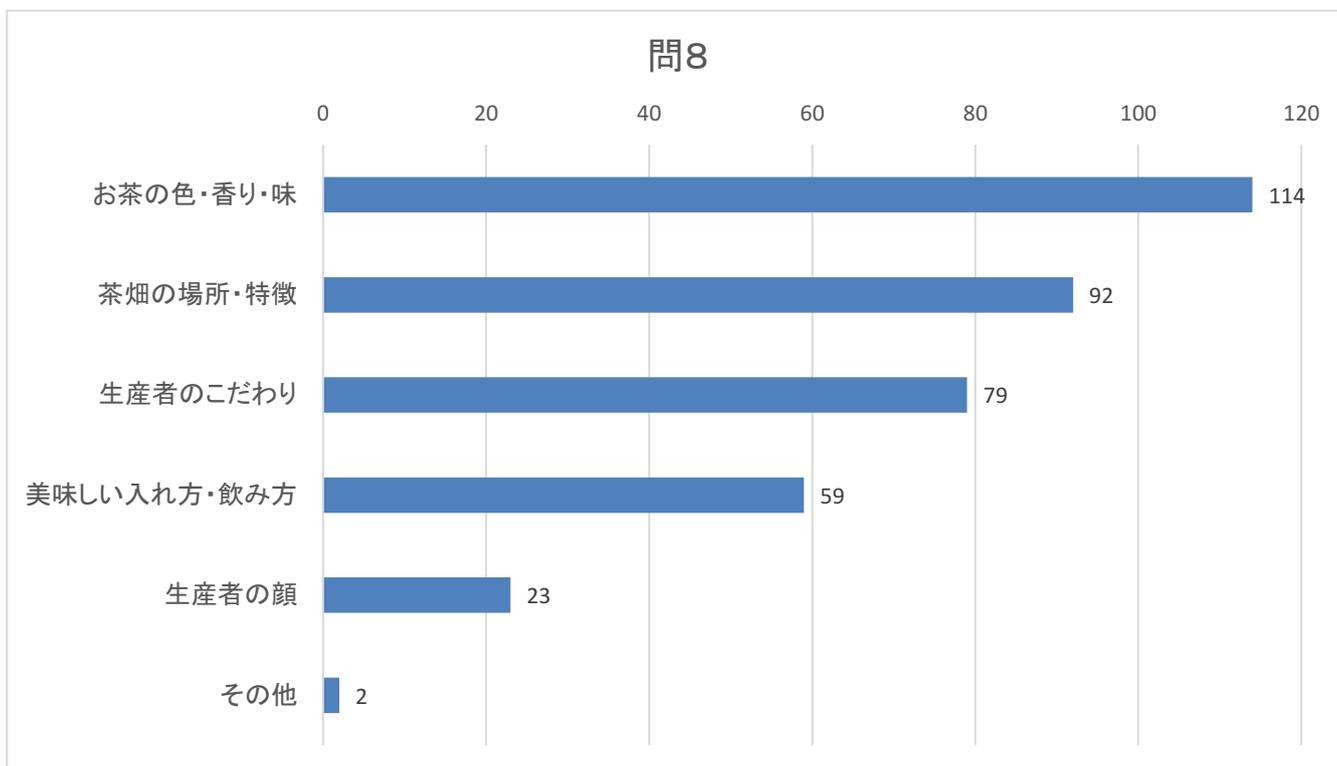
<その他の意見>

- ・特に入手しない。(40代女性)
- ・いつも同じものを買う。(30代女性)
- ・スーパー等の店頭(30代女性)
- ・ドラッグストア(50代女性)
- ・顔馴染みのお茶農家から(40代女性)
- ・O-CHA プラザの講座(50代女性)
- ・茶商(50代女性)

問8 お茶を購入する際に生産者の情報があるとしたら、どのような情報が購入の参考になりますか。
(複数選択可)

お茶の購入の参考になる情報は、「お茶の色・香り・味」が114人と最も多かった。
その他、「茶畑の場所・特徴」や、「生産者のこだわり」も多く挙げられていた。

| 問8 | |
|-------------|------|
| 生産者の顔 | 23人 |
| 茶畑の場所・特徴 | 92人 |
| お茶の色・香り・味 | 114人 |
| 生産者のこだわり | 79人 |
| 美味しい入れ方・飲み方 | 59人 |
| その他 | 2人 |



問9 「静岡市のお茶」・「お茶のまち静岡市」についてご意見等があれば、ご自由にお書きください。

- 健康にも良いお茶を飲む人が減少している傾向は残念である。(70代以上男性)
- 有料で良いので、静岡駅周辺にお茶の出る蛇口があると観光客にも興味を持っていただけると思う。(40代女性)
- 静岡市内の安西、北番町辺りを歩くと、本当にお茶屋さんが多く、一方、昔清水港から輸出されたという話に浸ると誇らしさを感じる。この誇らしい日本伝統文化を静岡から世界に発信していくことを望む。(60代男性)
- お茶から派生した食品が、もっと充実していてもいいと思う。例えば静岡のお土産として、お茶絡みの製品が少ない気がする。(40代男性)
- 茶葉離れをなくすために、新しい食材とコラボして色々な食事や食べ物を紹介していく。静岡市のLINEで発信してはどうか。(60代男性)
- 静岡駅を地下に降りていくとお茶のいい匂いがしますが、それ以外はお茶を推しているように思えない。牧之原市や島田市の一面茶畑の方がイメージ強い。街中でお茶を推すのなら市民(特に若い人)がもっとお茶そのものに触れる機会が多くないと無理かと思う。(30代女性)
- 静岡市もお茶のまちだが、掛川や菊川・島田などのほうがお茶のまちとしてのイメージが強い。静岡「市」ブランドのお茶はあまり知らない。(40代女性)
- 静岡市の香り高いお茶をいつも飲んでいる。季節や場所を選ばず一年中楽しめる飲み物なので気に入っている。(40代女性)
- お茶のまちと言いながら、手軽にお茶を楽しめる場所はとて少なく思う。お茶についての情報発信拠点等を各区役所に常設してはどうか。(50代女性)
- 全国的に広めるような明確さPRが必要。静岡茶というと、静岡県のお茶というイメージ。静岡市としての他の名称が必要ではないか。(40代女性)
- 茶町周辺をサイクリングするとお茶の良い匂いがして癒される。もっとそういう匂いがする場所があれば良いのと思う。(30代女性)
- 条例の内容までは知らなかったのもっとアピールした方が良いと思う。静岡市のお茶は他県のお茶もあるが本当に一番おいしいと思う。(70代以上男性)
- 静岡市の茶町にはお茶屋さんがたくさんある。また、駅南にはお茶の淹れ方を教えてくれる所がある。それらが協力してイベントを開催すれば、静岡の茶文化がよりPRできると思う。(30代女性)

◇所感◇

本市が策定している「静岡市茶どころ日本一条例」を知っている人が少なく、市民に浸透しているとは言えない状況であったが、静岡市を「お茶のまち」だと考え、そのことを誇りに思う市民の割合が高かったことから、お茶は本市にとって重要な産業であり、市民にとっても誇るべきものである。また、お茶を1日に1回以上飲む人の割合が多く、本市はお茶の生産地であるとともに、消費地でもあるということが言える。

このほか、お茶をスーパーやデパートのほか、茶専門店で購入したり、価格以外にも味や産地で選ぶ人が多く、市民の皆さんがお茶に興味を持ち、こだわりを持って購入している様子が伺える。購入にあたっては、お茶の味や色のほか、茶畑の場所や特徴、生産者のこだわり等の情報が参考になるという回答が多いことから、今後の情報発信に活かしていきたい。

今回の市政アンケートモニターの結果を参考に、関連事業をより一層推進してまいります。